

理学療法ジャーナル

バックナンバーと特集テーマのご案内

過去2年分のバックナンバーは当社に在庫がございますので、ご入用の際は
弊社販売・PR部 (☎ 03-3817-5650 FAX 03-3815-7804) までお申し込みください。
それ以前の号については東亜ブック (〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町5-27-11 ☎03-5947-4781
FAX 03-3923-4539 E-mail:st@toabook.com URL:http://www.toabook.com/) にお問い合わせください。



Vol.56 No.8 (2022年8月号)

特集

住まいと暮らし 理学療法士の実践環境づくり



障害者や高齢者の生活は毎日絶え間なく繰り返されており、理学療法士の最終的な目的はそこにある。理学療法士は、環境整備だけでなく、人的にも時間的にも幅広い視点で評価し、予防し、指導し、暮らしにかかわっている。本特集では、訪問や通所の事例を通して、現在の生活範囲やスケジュールといった生活状況、欠かせないサービス、生き甲斐、家屋環境や福祉用具などについて具体的に紹介するとともに、理学療法士の視点から、住宅と生活における問題を検証し、どうかかわり、どう導いたか、さらには将来を見据えた見解などについて述べていただいた。

Vol.56 (2022年)

- No. 7 人工関節置換術後の理学療法
- No. 6 医療現場におけるサルコペニア・フレイル
- No. 5 動作分析と臨床のマッチング
- No. 4 臨床に活かすニューロリハビリテーション
- No. 3 筋—理学療法士の視点から捉える
- No. 2 進歩する低侵襲手術に応じた理学療法
—治療プログラム、目標設定、リスク管理
- No. 1 機能解剖と理学療法

Vol.55 (2021年)

- No. 12 大腿骨近位部骨折 up to date
- No. 11 パーキンソン病の最新知見と効果的な理学療法
- No. 10 タッチ—触れることと触れられること
- No. 9 チーム医療におけるコラボレーション
- No. 8 がん治療のリアル
- No. 7 移動—理学療法からみた学際的探求
- No. 6 Inner & Intrinsic Muscles—筋による関節の安定化、姿勢調整機能を探る*
- No. 5 目標に基づく理学療法のための臨床推論
—症状・疾患別の実例
- No. 4 皮神経滑走と運動療法の新知見*
- No. 3 重症化予防
- No. 2 関節可動域評価のABC
—治療計画につなぐ応用的解釈まで
- No. 1 高齢者の膝関節の痛み

Vol.54 (2020年)

- No. 12 歩行 PART 2 運動器疾患と歩行指導
- No. 11 歩行 PART 1 脳神経疾患と歩行
- No. 10 疼痛に対する最新の理学療法—治療効果を最大化するための理論と実践
- No. 9 軟部組織に着目した理学療法の最前線*

*在庫僅少

特集

子どもの成長・発達を支える理学療法

子どもの成長、発達に寄与する理学療法に必要なこと	新田 收
子どもの運動・動作の発達とその特徴	吉田伊津美
子どものこころと言葉の発達とその特徴	小関俊祐, 他
子どもの発達・成長に関する医療・福祉制度	又村あおい
低出生体重児のディベロップメンタルケアと理学療法	藤本智久
子どもの呼吸ケアと成長・発達支援	横山美佐子
医療的ケアが必要な子どもの訪問理学療法	齋藤大地
児童発達支援・放課後等デイサービスにおける子どもの発達支援	久保田麻紀
学校保健, 特別支援教育における子どもの成長・発達支援と理学療法	竹田智之

Close-up

心不全パンデミック

心不全パンデミック	網谷英介
心不全パンデミックと理学療法	櫻田弘治
心不全パンデミックと訪問理学療法	大浦啓輔

連載

画像評価—何を読み取る? どう活かす?⑩

慢性心不全	西原浩真
-------	------

理学療法のスタート—こうやってみよう こう考えていこう⑩

- ・自分が休む「申し送り」どう書けば? 日常カルテ記載のポイント
- ・主疾患と典型症状に目を取られすぎないように

多々良大輔

臨床実習サブノート 退院後から振り返るゴール設定—推論を事実と照合して学ぶ⑤

在宅復帰 歩行自立	村中 晃
-----------	------

*都合により内容が変更となる場合もありますのでご了承ください。

年間購読のご案内

- 1冊ずつ購入するよりお得! 学割もご用意しております。
- 発行後すぐに送料無料でお届けします!
- 「電子版」なら, 1年分の購読料で創刊号からのバックナンバーが読み放題!

お申し込みは医学書院ウェブサイト
または弊社販売・PR部まで

TEL 03-3817-5650 / FAX 03-3815-7804
<https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>



2022年 年間購読料

(12冊, 税込, 送料弊社負担)

冊子版	21,912円
冊子+電子版/個人	25,212円
電子版/個人	21,912円
冊子版/学生割引	17,556円
冊子+電子版/学生割引	20,856円
電子版/学生割引	17,556円